

第30回春の全国小学生ドッジボール選手権静岡県予選会 兼 第25回静岡県ドッジボール選手権

再確認事項

参加される全ての皆様へ施設よりの注意喚起（再確認をお願いします）

- ・大声は出さない（指定された観覧席、選手の待機場所等、また円陣は行わない）
- ・うちわ等（応援に使用する場合も含む）は、飛沫の飛散リスクがある為、会場内への持ち込みはご遠慮下さい。
- ・食事は、指定されたチームの座席を有効に使用し、列は数列、座席は1席以上空け、1度に食事をする人数を減らして下さい。
- ・会場内の全ての方が、マスクを外した際には会話をしない。
- ・ミーティング等は密にならないよう配慮し、他チームとすれ違う通路等に集まって行わない。

協会よりお願い

- ・1月17日の説明会でお願い致しました、注意事項等はスポーツ庁等のガイドラインや指導に基づき策定されたものです。チームの皆様は、お子様と間近で接する事となります。
- チーム役員の皆様へは、お子様を引率される際に行う感染対策、保護者の方へは、チーム内に於ける感染症対策を、チーム内で話し合い、個々の感染症対策を実施して頂くようお願いいたします。

県内チームで取り組まれている感染症対策の事例

- ・選手が試合後に汗が引くと体が冷えることから、免疫力の低下により感染リスクが高まる為下着の交換をこまめに実施している。
- ・選手へは不織布マスクの着用を義務付け、試合前に外した不織布マスクは、ビニール袋へ入れ廃棄。試合後、手指の消毒後に新しい不織布マスクを着用している。
- ・マスクを素手で触れた時点で、手にウイルスが付着する事から、試合中にマスクを着用する選手には、マスクがズレても触れないように指導している。

静岡県予選会へ参加される帯同審判員の皆様へ

- ・審判ユニフォーム下に着用するアンダーウェアは、「黒色・半袖で、襟や袖が表に出ない事」となっておりますが、免疫力低下による感染リスクが心配の方は、長袖の着用を可としますが、襟は出ないこと。
- ・イエローカード及びレッドカード、笛の携帯を徹底事項とする。
- ・審判手帳の記載事項を確認し、「不備があれば是正する事。（写真の貼り忘れがないよう）」

*今後も感染症の対策を講じなくてはなりません。自チームで取り組まれている感染症対策を県内チームの皆様へ共有させて頂き、感染症対策に役立たせて頂きたいと思っております。独自の取り組みがありましたら、協会へお知らせ下さい。（kyougishinpanbu@gmail.com または 公式LINE）